

令和 6 年度第 5 回小金井市長期計画審議会

日 時 令和 7 年 3 月 1 4 日（金）午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 4 1 分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 1 4 人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 萬 羽 郁 子 委員

委 員 檜 山 渚 委員 白 井 脩 造 委員

中 村 彰 宏 委員 湯 本 由 佳 委員

渡 辺 有 加 委員 石 塚 勝 敏 委員

春 日 邦 夫 委員 須 藤 吉 章 委員

和 知 俊 行 委員 浅 野 智 彦 委員

井 寺 喜 香 委員 神 山 伸 一 委員

欠席委員 2 人

鈴 木 琢 真 委員 出 戸 剛 委員

事務局 市長 白井 亨

企画財政部長 水落 俊也

企画政策課長 富田 絵実

企画政策課係長 中島 広樹

企画政策課主任 兼堀 義信

企画政策課主事 金信 沙樹

企画政策課主事 樗木 紗矢

アビームコンサルティング株式会社 大川 創平

アビームコンサルティング株式会社 中村 圭介

アビームコンサルティング株式会社 久原 向日葵

傍聴者 0 人

（午後 7 時 0 0 分開会）

◎水落企画財政部長 ただいまから、令和 6 年度第 5 回小金井市長期計画審議会を開催します。会長が選任されるまで、司会進行を務めさせていただきます企画財政部長の水落と申します。よろしくお願いいたします。本日は、鈴木委員、出戸委員から欠席の連絡が入っております。また、井寺委員は遅れるとの連絡をいただいております。定足数につきましては、「小金井市長期計画審議会条例」第 5 条第 2 項に、半数以上で成立することと定められております。現時点で 1 6 人中 1 3 人の出席でございますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。

それでは最初に、お配りしております資料の御確認をお願いします。次第、名簿、起草委員会の所属希望に関する用紙のほか、ファイルに挟んでいる配付資料一覧のとおりでございます。説明を進める中で不足等ございましたら、お申し出ください。

◎水落企画財政部長 それでは、次第に従いまして進行をさせていただきます。初めに、「次第1 委員の委嘱及び市長挨拶」でございます。委嘱状につきましては、委員の皆様にご直接お渡しさせていただくところでございますが、予め机上に配布させていただいております。任期につきましては、令和7年3月14日から令和9年3月13日までとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。続きまして、市長挨拶でございます。市長よろしくお願いいたします。

◎白井市長 こんにちは。市長の白井でございます。今回は長期計画審議会の委員を引き続きお受けいただいた方、新たにお引き受けいただいた方、誠にありがとうございます。また、日頃より小金井市政への御理解・御協力に感謝申し上げます。本市の長期計画審議会では基本構想が大きなテーマになりますが、小金井市では昭和52年に最初の基本構想を策定いたしました。以来第2次基本構想、第3次基本構想、第4次基本構想ときて、現在の第5次基本構想を策定し、これまで諸政策を推進してきたところです。現行の第5次基本計画では、「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪小金井市」を将来像として6つの目標を掲げ、まちづくりを進めてきました。今回の長期基本計画審議会では、前期基本計画が令和7年度末で終えるため、この評価をしていただく、また令和8年度からの新たな後期基本計画の策定について御審議を頂きたいと思っております。様々な立場から、市民の立場、専門的な立場から意見を頂きたいと思っております。現在の小金井市の状況についてお話しします。現在の日本の社会は人口減少と言われています。昨年の出生数は72万人となっており、想定よりも15年早く少子化が進んでいます。6年ほど前から減少しています。以前は1100人くらい生まれていたのですが、小金井市では0歳児人口は900人を切ります。小金井市の人口全体は現在、約12万5000人です。1月と比較すると500人程度増えています。微増傾向でありながら、人口の踊り場に来ていると考えます。そのような状況であるという認識をしていただければと思います。一方で、高齢化率は21.7%で、東京都平均より下回っています。全国平均と比較すると東京都やその他市町村と比較して若い自治体ではありますが、75歳以上の人口が増え、高齢化が進んでいくと考えられています。小金井市について貴重な御意見を賜りたいと考えております。新しい変化についていけるようにしていきたいと考えております。どうぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

◎水落企画財政部長 ここで任期最初の会議でございますので、各委員から自己紹介をお願いいたします。それでは、参考資料に名簿がありますので、上から順番にお名前をお呼びしますので、簡単で構いませんので、よろしくお願いいたします。では、榎山委員をお願いします。

◎榎山委員 小金井市に8年くらい住んでいます。子ども3人を育てております。前期の委員を務めさせていただいて、一市民として参加させていただいております。皆さんは専門的なバックグラウンドをお持ちだと思いますが、一市民として意見できればと思います。よろしくお

願いいたします。

◎**水落企画財政部長** ありがとうございます。続きまして、白井委員お願いします。

◎**白井委員** 白井といいます。生まれてから小金井市に住んでいます。今はスタートアップ支援をしており、まちづくりと通じるところがあると思います。生まれ育ったまちを魅力的にしたいとお手伝いをしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

◎**中村委員** 先ほど水落部長からお話がありましたが、前期の長期計画審議会でも携わらせていただきました。そのときは大変ではありましたが、非常に活発な議論ができ有意義でした。前原町に住んでおり、NPO法人市民の図書館・公民館こがねいの副理事長を務めております。建設的な議論ができればと思っております。よろしくお願いいたします。

◎**湯本委員** 無作為抽出枠で選出されています。息子が2人おり、1人は難聴があります。もともと国分寺市に住んでいたのですが、難聴の子のフォローをしてくれる通級学校がなく、調べたところ小金井市第二小学校にあるということで、通わせたいと思い、引っ越してきました。小金井第二小学校は知的の固定級、通級があり、難聴のクラスもあり、隣には特別支援学校もあり、様々な子と関わる点が素敵だと思っています。よろしくお願いいたします。

◎**渡辺委員** 小金井市に6年～7年前に引っ越してきました。府中市で生まれ育ち、職場が小金井市にあり通っていましたが、とても暮らしやすいまちだと思い引っ越してきました。市のことは詳しくはわかりませんが、一般的な市民代表として参加できればと思います。よろしくお願いいたします。

◎**石塚委員** 小金井市社会福祉協議会事務局長の石塚です。市からの社会福祉に関連するさまざまな委託事業をしております。今回はできる限りいい意見を出していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◎**春日委員** 公益社団法人小金井市シルバー人材センターから来ております、事務局長代理です。この場初めて参加させていただいております。どのように進むか不安ではありますが、いい意見を出して微力ながら貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

◎**須藤委員** 商工会からの推薦で参加させていただきました。前期も参加させていただいて2期目となります。商業的な視点から何かお話ができればと思っておりますが、計画の中で商業の内容があまり多くないので、全般的に御協力できればと思います。よろしくお願いいたします。

◎**和知委員** 小金井青年会議所から参加しております。小金井青年会議所は52年目となり、40歳以下の若い人で地域活動をしている団体です。前期から引き継いで任命されました。青年会議所の観点から意見が出せればと思います。

◎**萬羽委員** 東京学芸大学から来ております。教員養成の大学で、家庭科の教科の中には様々な項目があり、住宅だけでなく住環境という視点でまちにどのような人が暮らしていて、どのようにまちは成り立っているのかという視点で研究しています。職場も小金井市にありますし、私も小金井市民でもあるので、その視点からもお話しできればと思います。

◎**渡邊委員** 長期計画審議会は第2期から参加しております。お役に立つかどうかわかりませんが、委員として頑張りたいです。よろしくお願いいたします。

◎**浅野委員** 教育委員会から来ました。後期もどうぞよろしくお願いいたします。

◎**神山委員** 副市長の神山です。初めての参加となります。よろしくお願いいたします。

◎**水落企画財政部長** ありがとうございます。続きまして、事務局の紹介をいたします。改めまして企画財政部長の水落です。よろしくお願いいたします。続いて、企画政策課長の富田です。続いて、企画政策係長の中島です。続いて、企画政策係主任の兼堀です。続いて、企画政策係主事の金信です。続いて、企画政策係主事の樗木です。

続きまして、長期総合計画策定支援の委託先であるアビームコンサルティング株式会社の担当者も同席させていただいています。順に、大川、中村、久原です。よろしくお願いいたします。以上となります。

続きまして、「次第2 会長及び職務代理者について」でございます。長期計画審議会条例では、本審議会に会長を置くことと定めています。会長の職務としては、会務を総理し、審議会を代表し、会議の議事進行等を行っていただくこととなっております。委員の互選によって決めることとなっております。選出方法について何か御意見がある方がおられましたら、お願いします。

◎**浅野委員** 推薦はどうでしょうか。

◎**水落企画財政部長** 推薦という御意見がありました。それでは、どなたか御推薦がありますか。

◎**浅野委員** 前回の長期計画審議会でも委員長を務められた渡邊嘉二郎先生に、お受けいただけないでしょうか。

◎**水落企画財政部長** ただいま、渡邊嘉二郎委員の御推薦がありました。皆さん、御意見はよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎**水落企画財政部長** それでは、会長につきましては、渡邊嘉二郎委員を選出することと決定しました。それでは渡邊会長、会長席に御着席の上、会長就任の御挨拶をお願いします。

◎**渡邊会長** 前向きな議論をしていただいて、満足できたという会になればよいのかなと思います。2年間よろしくお願いいたします。

では、会長として、以後の議事進行に当たらせていただきます。

続けて、職務代理者の指名に入ります。職務代理者は長期計画審議会条例の規定に基づきまして、会長が指名することとなっております。立候補される方がいらっしゃらなければ、私の方から指名させていただきます。私としては、前回も御一緒した萬羽委員にお願いできればと思うのですが、いかがでしょうか。

◎**萬羽委員** 他にどなたもいらっしゃらなければ、お引き受けします。

◎**渡邊会長** では、萬羽委員にお願いしたいと思います。それでは、萬羽委員、職務代理者席

にお移りの上、御挨拶をお願いします。

◎**萬羽職務代理者** 渡邊会長についていけば大丈夫かと思っております。前回から参加し、勉強になりましたし、話し合いながら進んでいくのだとわかりました。よろしくお願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、次の議事である、諮問に入ります。市長から諮問書の受領を行いたいと思います。

◎**白井市長** 令和7年3月14日。小金井市長期計画審議会会長様。小金井市長、白井亨。第5次小金井市基本構想・後期基本計画案の策定について。小金井市長期計画審議会条例第2条第1号及び第2号の規定に基づき、下記の事項を諮問します。記、1、諮問事項。(1)第5次小金井市基本構想・前期基本計画の推進及び効果検証について。(2)第5次小金井市基本構想・後期基本計画（案）の策定。2、諮問趣旨。(1)第5次小金井市基本構想・前期基本計画の目標達成に向け、本市が実施する令和7年度施策評価に係る外部評価について、長期計画審議会の意見を求めます。(2)第5次小金井市基本構想・前期基本計画が、令和7年度末をもって終了します。令和8年度からの本市の新たな指針となる、第5次小金井市基本構想・後期基本計画（案）の策定について、諮問するものです。以上、2件の諮問事項について答申をいただけますよう、よろしくお願いします。

◎**渡邊会長** 答申できるよう、審議していきたいと思います。

それでは、市長は他の公務のため、ここで退席します。

◎**白井市長** ありがとうございます。御審議、よろしくお願いします。

（市長退席）

◎**渡邊会長** ここで井寺委員が来られましたので、自己紹介をお願いします。

◎**井寺委員** 農業委員会から来ました。よろしくお願いいたします。

◎**渡邊会長** 次に、会議録の作成方法等、会議の運営等を決めたいと思います。事務局より説明をお願いします。

◎**富田企画政策課長** 資料1を御覧ください。会議の開催の前提としまして、この資料1の4つの項目について、説明させていただき、1及び4については、本日どのような方法にするか決定をいただきたいと思います。

まず、「2 会議の公開」の部分ですが、小金井市市民参加条例第6条の規定により、この長期計画審議会も含めまして、附属機関等の会議は公開となります。条例の詳細については、資料3に添付をしております。また、「3 会議の傍聴」については、資料4になりますが、「小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領」に沿って、運営をしていただきたいと思います。

続いて、「1 会議録作成の基本方針等」についてでございます。お手元の資料3を御覧いただきたいと思います。市民参加条例と条例施行規則の抜粋がついております。条例第7条第1号で附属機関等の会議録を公開することになっております。そして、会議録の記載事項は、

施行規則第6条で定められておりますが、どのような作成方法にするか、規則第5条にしたがって、①全文記録とするか②発言者の発言内容ごとの要点記録とするか③会議内容の要点記録とするかをお決めいただきたいと思います。なお、事務局案は①の全文記録です。4については後ほど御説明いたします。

◎渡邊会長 事務局からの説明がありました。まず、前提として、「2 会議の公開」、「3 会議の傍聴」については、条例等で規定されていることもあるため、このように進めたいと思いますが、よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

◎渡邊会長 では、続いて、決定しなければならない会議録の作成方法について、御意見があればお願いします。事務局の提案としては、全文記録でお願いしたいという御提案がございました。正確を期す意味でもそれがよろしいのではないかと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

◎渡邊会長 では、会議録の作成方法については、事務局の提案どおりとします。次に、校正の方法について、説明をお願いします。

◎富田企画政策課長 事務局の方で基本的な校正までを行った上で、委員の皆様に校正原稿をお送りします。校正がありましたら、メール等で事務局まで御連絡ください。事務局で校正の上、会議録は、会長に御一任いただいて決定とし、公開させていただきます。

◎渡邊会長 そのような流れで、皆さんお願いします。

それでは、「4 意見提案シート」の説明をお願いします。

◎富田企画政策課長 資料1と資料5を御覧ください。資料5が実際の意見・提案シートでございまして、傍聴者の意見を積極的に反映できるようにするため、傍聴にいらっしゃった方に資料と一緒に配付し、意見がある方から事務局に提出してもらうというものでございます。この会議において、導入するか、またどう取り扱うかについて御協議をお願いいたします。

資料1の4を御覧いただきたいのですが、決定事項としては、（1）設置するか、しないかを決定していただき、設置する場合には、（2）まず1つは記名を求めるか、2つ目として正式資料として公開の対象にするか、3つ目は、審議に必ず取り上げるかを決定ください。ここに記載させていただいたものは、前期の長期計画審議会での取扱いを記載しています。氏名も含めて原文のまま会議録と合わせて配付資料として公開し、無記名だった場合は参考資料として委員へ配付することとしています。また、意見・提案シートを議題として取り上げるかについては、委員から審議に取り上げたいと申し出があった場合、審議の内容等を考慮し、必要に応じて、議題として取り上げております。また、（3）として、期日の関係ですが、会議開催の1週間前に届いたものは事前配付資料として委員へ送り、それ以降に届いたものはできるだけ当日配付資料とすることとしております。以上について、改めて本審議会での取扱いについて御協議をお願いいたします。

◎渡邊会長 基本的には、前期の審議会と同様の扱いにしたいと思いますが、意見・提案シートの導入について、御意見はありますか。

(「異議なし」の声あり)

◎渡邊会長 それでは 事務局から説明いただいたとおりとします。

事務局から何かございますか。

◎富田企画政策課長 皆様の任期前でございますが、前回の令和6年度第4回長期計画審議会
で意見・提案シートが提出されております。早速ではありますが、これから配付を行い、取扱いについて御協議をお願いいたします。配付のため、短時間の休憩をお願いします。

◎渡邊会長 一旦、休憩します。

(休憩)

◎渡邊会長 再開します。この意見・提案シートの取扱いについてですが、いかがでしょうか。
個別の事業に関するものですので、今回は議題として挙げず、今後の後期基本計画策定の議論の際にこのような意見も参考にしていくということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎渡邊会長 それでは、そのように取り扱います。

次に、次第5です。今回、初めてこの長期計画審議会に参加された方もいますので、まず、
基本構想・基本計画とは何か、その概要について知っていただきたいと思いますので、その点、
簡単に事務局から説明していただいてもよろしいでしょうか。

◎中島企画政策課係長 それでは、長期総合計画について簡単に御説明いたします。第5次小
金井市基本構想・前期基本計画の冊子の2ページを御覧ください。

長期総合計画は、10年間の基本構想と前期5年間、後期5年間の基本計画、更に3年毎の
実施計画という3段構造になっています。第5次基本構想は、令和3年度から令和12年度の
10年間の計画です。前期基本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間、後期基本計
画は、令和8年度から令和12年度の5年間の計画となりますが、皆様が効果検証をしていた
だくのが、前期基本計画。新たに計画策定に携わっていただくのが、後期基本計画でございま
す。続いて、24ページの「(4)計画体系図」を御覧ください。図にございますように、小金井
市は基本構想の中で、将来像を「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」
と定め、その将来像を実現するため、6つの分野の政策を立てて推進していくこととしており
ます。後期基本計画でも、この6つの政策を軸にして、それぞれの政策の中で、施策ごとに目
標を立て、具体的な取組を進めていき、最終的には将来像を実現させていくことを大きな目標
としています。6つの政策の中に、29の施策が展開されておりますが、一覧としては、25
ページに、各施策の詳細については、28ページ以降に記載されておりますので、お時間のあ
る時に御覧いただけると幸いです。

◎渡邊会長 事務局からの説明に対し、何か御質問や御意見はございますか。あれば挙手をお
願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

次に、次第6です。今後のスケジュール等について、事務局から説明をお願いします。

◎中島企画政策課係長 それでは、まず全体のスケジュール案につきまして説明させていただきます。資料6「長期計画審議会・起草委員会 全体スケジュール（案）」を御覧ください。

審議の体制としては、審議会と起草委員会の2部体制で行いたいと考えております。それぞれの役割については、後ほど御説明させていただきますので、まずは、全体の流れを説明させていただきたいと思います。資料6の上の部分が審議会とその審議内容、下の部分が起草委員会とその審議内容となっております。

まずは審議会です。審議会については、本日が委員改選後、初めての会議のため、表中では第1回としており、11月下旬までに全部で8回を予定しております。3月は本日を含め2回開催させていただき、素案等の全体の調整を行います。6月下旬から8月下旬にかけて、表中の第3回から第5回まで、3回開催させていただきます。こちらは主に前期基本計画の施策について令和6年度実績の第三者評価を予定しております。8月下旬から9月上旬までに評価に基づく効果検証の答申をいただく予定としております。なお、この第三者評価については後ほど説明させていただきます。9月開催の第6回については、起草委員会での議論等を踏まえ、全体調整と中間答申や市民フォーラムに向けた準備を進めます。市民フォーラムは後期基本計画の素案の内容について、説明するとともに、市民の皆様と意見交換する機会として9月中旬に開催を予定しております。そして、予定では、9月下旬に一定まとまった形のものを中間答申としていただければと考えております。中間答申の後は、パブリックコメントにて市民の方からの意見募集を行い、必要に応じて若干の修正等を行いながら、12月上旬には最終答申という形をいただきたいと考えております。

次に起草委員会です。起草委員会は4月から7月にかけて集中的に4回開催する予定です。政策ごとに、3つのグループに分けて、施策の中身である、目指す姿、現状と課題、施策の方向性、指標の検討を行いつつ、その経過を都度審議会に報告するとともに、後期基本計画の素案を固めていく形としていきたいと考えております。皆様には上段の審議会と下段の起草委員会の両方に御参加いただきます。短期間での集中的な審議となり大変恐縮ではございますが、よろしくお願いいたします。

◎渡邊会長 事務局から説明がありました。御意見はありますか。よろしければ、概ねこのようなスケジュールで開催するようにいたします。次に、審議会、起草委員会の役割について、事務局からの説明をお願いします。

◎中島企画政策課係長 資料7「審議会・起草委員会の役割（案）」をご覧ください。

まず、審議会の役割でございます。今回の形が審議会という形となります。構成としては全委員16名で構成されます。会議としては、先ほどの会議の運営についても説明いたしましたが、公開となります。役割のポイントとしては、審議会は、報告や意見の調整、決定を中心とした場とさせていただきたいと考えておりますので、全体感や客観性、平準化の視点で御審議

いただければと思います。

続いて、起草委員会の役割についてでございます。会議としては審議会と同様に公開となります。ただ、審議会とは異なりまして、役割のポイントとしましては、起草委員会は、自由に意見を交わすことができる、フラットな話しやすい場とさせていただきたいと考えておりますので、個別・具体性や詳細化といった視点で、ざっくばらんに御審議いただきたいと考えております。起草委員会の構成については、資料7の下部に記載しておりますが、「環境と都市基盤」及び「地域と経済」のグループ、「子どもと教育」及び「福祉と健康」のグループ、「文化と生涯学習」及び「行政運営」のグループの3つに分かれまして、各グループ5名から6名を固定メンバーとしたいと考えております。そして、各グループのメンバーの中から1名取りまとめ役であるリーダーを決定し、リーダーを中心に進行・結論出し等をしていただきたいと考えております。次に、起草委員会のグループの決め方ですが、各委員に希望を伺います。第1希望、第2希望までの希望を伺い、偏りがある場合は、事務局で調整をさせていただいた上、第2回の審議会において報告し、確定したいと考えております。つきましては、本日参考資料としてお配りしました「起草委員会の所属希望について」を、後ほどメールでもお送りいたしますが、そちらに御記入の上、期日までにメール等で、御回答いただければと思います。もちろん、本日この場で記入し、御提出していただいても構いません。

◎**渡邊会長** 事務局から説明がありました。御意見はありますか。それでは、起草委員の所属については、次回決定するということなので、皆さん、所属したい分野の検討を各自お願いします。続いて、庁内策定状況について、事務局からの説明をお願いします。

◎**中島企画政策課係長** それでは、これまでの庁内策定状況について御説明いたします。資料8の「長期総合計画策定方針」を御覧ください。ページ数の記載がなく申し訳ございませんが、1枚めくった2ページ目の下部にある「4 策定方法」「(1) 庁内体制」のところです。庁内策定体制についてですが、市長をはじめとした理事者や部長職者で構成される長期総合計画策定本部、課長職者で構成される専門部会、係長職や主任職で構成される長期総合計画策定研究会の3つの組織構造となっており、総合的、大枠的な観点で計画（案）の策定を行う策定本部の指示のもと、専門部会や研究会の実施に加え、各課とも充分調整を図りながら個別具体的な検討を行い、現在、素案作りを鋭意進めているところです。全体の動きとしては、3ページ目の上部にある図のような形で進めているところであります。なお、素案につきましては、次回の審議会でお示しできればと考えております。

◎**渡邊会長** 事務局から説明がありました。御意見はありますか。よろしければ、素案については作成中であり、次回お示しいただくことにいたします。今まで、後期基本計画の策定について、事務局から色々と御説明がありましたが、本審議会の諮問事項としては、前期基本計画の推進及び効果検証もでございます。いわゆる施策評価と呼んでおりますが、その辺りについて、事務局からの説明をお願いします。

◎**中島企画政策課係長** それでは、施策評価について御説明いたします。資料9の「令和6年

度施策評価シート」を御覧ください。

前期基本計画では29の施策があり、こちらのような「施策評価シート」を施策ごとに作成しております。構成としては、PDCA方式を採用しております。先ほど説明した施策ごとの「目指す姿」がPlanとなっており、評価対象年度の「主な取組」がDo、「指標の結果及び評価」がCheck、「次年度の施策の方向性」がActionとなっております。長期計画審議会の皆様には、指標の結果や行政の自己評価を踏まえ、Checkの部分にある「長期計画審議会コメント」の作成をお願いしたいと考えております。先ほども説明したとおり、6月から8月までの3回の審議会で御審議をいただき、こちらにつきましては、8月下旬から9月上旬までに答申をいただきたいと思いますと考えております。なお、昨年度までの答申が、市ホームページにて公開されておりますので、御覧いただければと思います。施策が29と多くなっておりますので、昨年度の令和5年度施策評価までは、2つのグループに分けて御議論をいただき、施策評価シートの内容に疑義がある場合は、担当課からヒアリングを行うなど、評価を行っていただきました。令和6年度の施策評価に関しても、どのような形で進めるのか次回以降の審議会で決めていきたいと思っております。説明は以上です。

◎**渡邊会長** 事務局から説明がありました。御意見はありますか。よろしければ、計画策定後、それがどのように進んでいるのかを確認し、第三者の目線で評価することがこの審議会の役割でございますので、皆様御協力をお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思っております。

次に、次第7です。これまでの検討状況について、事務局から説明をお願いします。

◎**中島企画政策課係長** アビームコンサルティング株式会社より、資料10に沿って御説明させていただきます。

◎**中村（アビームコンサルティング株式会社）** 後期基本計画において実施した調査やワークショップにつきまして、御支援させていただいているアビームコンサルティング株式会社の中村から説明させていただきます。前期から御参加いただいている方は前回の説明と同じ内容になります。

資料を投影させていただいておりますが、机上にも配布させていただいておりますので、適宜両方を参照いただきながら説明させていただければと思います。まず初めに、本日の審議会資料は、簡潔に調査結果を御報告させていただくため、概要版となっております。報告書本体については改めて御提示させていただきます。

各調査結果を踏まえ、今後、計画へ反映させてまいります。例えば、それぞれの調査結果による市民の意見を一覧化するなどし、反映可否を含め管理する想定です。

資料10「令和6年度小金井市市民意向調査報告書（概要版）」に沿った形で説明させていただきます。目次を御用意させていただいております。大項目1にて実施項目と設問を掲載しており、大項目2にて調査結果を掲載しています。

実施概要ですが、3ページに掲載させていただいております。小金井市内全域の方にお住ま

いの方で満18歳以上の男女2000名の方に無作為抽出で郵送またはWEBで御回答いただいています。有効回答数は641人で、有効回答率は32.1%となっています。4ページ、5ページには設問項目一覧を掲載しています。

それでは7ページから調査結果を御報告いたします。7ページから12ページには属性情報の回答を示しております。属性の回答結果で、性別は、「男性」が42.7%（274件）、「女性」が54.5%（349件）であり、女性の方が多いです。年齢は、「50～59歳」（18.7%）が最も高く、以下、「40～49歳」（17.5%）、「30～39歳」（13.6%）と続いています。居住年数について「30年以上」（32.1%）が最も高く、以下、「5年未満」（19.3%）、「20～29年」（17.6%）と続いています。居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（54.4%）が最も高く、以下、「借家（マンション・アパートなど）」（19.3%）、「持ち家（マンションなど）」（17.0%）と続いています。世帯構成は、「二世帯が同居（子どもと同居）」（42.0%）が最も高く、以下、「夫婦のみ」（25.3%）、「単身世帯」（16.4%）と続いています。職業は、「会社員、公務員などの勤め人」（41.3%）が最も高く、以下、「無職」（18.1%）、「専業主婦・主夫」（14.2%）と続いています。通勤・通学地は、「23区内」（48.7%）が最も高く、以下、「多摩地域（市外）」（27.3%）、「小金井市内」（17.5%）と続いています。居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（54.4%）が最も高く、以下、「借家（マンション・アパートなど）」（19.3%）、「持ち家（マンションなど）」（17.0%）と続いています。居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（54.4%）が最も高く、以下、「借家（マンション・アパートなど）」（19.3%）、「持ち家（マンションなど）」（17.0%）と続いています。世帯構成は、「二世帯が同居（子どもと同居）」（42.0%）が最も高く、以下、「夫婦のみ」（25.3%）、「単身世帯」（16.4%）と続いています。同居家族は、「65歳以上」（27.0%）が最も高く、以下、「就学前（0～5歳）」（12.6%）、「小学生」（12.0%）と続いています。

13ページから17ページでは、「小金井市の住み心地やイメージ等について」の回答を示しております。住みやすさを聞いたところ、「住みやすい」（42.3%）と「どちらかといえば住みやすい」（46.6%）を合わせて88.9%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率（84.5%）よりも4.4ポイント高くなっています。

14ページでは、定住志向を聞いたところ、「住み続けたい」（41.0%）と「できれば住み続けたい」（40.2%）を合わせた81.2%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率（80.0%）よりも1.2ポイント高くなっています。

15ページでは、小金井市の良い点や自慢したい点を聞いたところ、「みどりや水辺などの自然」（56.6%）や「静かで落ち着いた住環境」（50.7%）が高く、次いで「日常生活に便利で暮らしやすい」（43.7%）が高くなっています。

16ページでは、小金井市のアピールできるものについての質問回答をテキストマイニング

という手法で分析しました。「小金井公園」、「野川公園」、「多摩川上水」、「自然」、「緑」などの単語から「公園が充実し、自然が豊か」という認識があるとうかがえます。また、「アクセス」、「都心」、「便利」、「住」、「子育て」、「治安」などの単語から、「都心へのアクセスが良い」、「生活がしやすい」という認識があるとうかがえます。

17ページにおいても、10年後の小金井市がどのようなまちになってほしいかについての回答を、テキストマイニングを用いて分析しました。「自然」や「緑」、「豊か」、「多い」、「維持」などの単語から、「自然環境を維持する」というイメージが多く見られます。「充実」、「駅」、「施設」、「医療」、「教育」、「生活」、「便利」などの単語から、「生活に必要でより豊かにする施設の充実」というイメージが多く見られます。

18ページから27ページでは、「市の施策について」を示しています。18、19ページでは、施策への満足度についての回答を示しています。『満足』度が高い項目としては、「みどりと水の環境整備」（66.0%）、「住環境の整備」（40.9%）、「都市インフラの整備」（41.1%）となっています。『不満』度が高い項目としては、「市街地の整備」（29.6%）、「交通環境の整備」（26.7%）、「産業・観光の振興」（27.2%）となっています。

20、21ページでは、施策の重要度についての回答を示しています。重要度の高い項目としては、「みどりと水の環境整備」（80.9%）、「危機管理体制の構築」（77.4%）、「地域の安全・安心の向上」（78.3%）となっています。

22ページでは、29の施策のうち優先的に進めていく必要があると考える取組についての回答を示しています。特に優先的に進めていく必要がある取組は、「みどりと水の環境整備」（20.0%）が最も高く、以下、「子育て家庭の支援」（18.1%）、「高齢者が暮らし続ける仕組みの充実」（17.0%）と続いています。

23ページでは、小金井市第5次基本構想・前期基本計画の周知度を聞いたところ、全体として、「今回のアンケートで初めて知った」と回答した割合が64.6%と高くなっていました。「内容は知らなかったが、策定されたことは知っていた」（18.4%）と「内容まで理解している」（2.2%）を合わせた周知度は、20.6%となっていました。

24ページでは、市の将来像であるキャッチフレーズ「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」の認知度を聞いたところ、全体として、「今回のアンケートで初めて知った」と回答した割合が78.2%と高くなっています。

25ページでは、市の行政情報をどのように入手するかを聞いたところ、全体として、「市報」（83.3%）が突出して高く、以下、「回覧板」（21.2%）、「市のホームページ」（20.0%）、「家族、友人」（13.6%）の順で高くなっていきます。

26ページでは、市歌の認知度を聞いたところ、全体として、「市歌があることを知らなかった」と回答した割合が77.2%と高くなっていきます。「知っていて（聞いたことがある）歌ったことがある」（1.9%）と「知っている（聞いたことがある）が歌ったことはない」

(18.1%)を合わせた周知度は、20.0%となっています。

27ページでは、市歌を聞いた場所を聞いたところ、全体として、「防災行政無線（ふれあいメロディー）」(64.1%)が突出して高く、以下、「市主催のイベント」(14.8%)、「その他」(14.8%)の順で高くなっていました。

28ページから33ページでは「地域活動等の状況について」を示しています。28ページでは、最近1年間の地域活動への参加状況について聞いたところ、全体として、「参加したことがない」と回答した割合が74.9%と高くなってしています。

29、30ページでは、28ページの質問において「参加したことがある」と答えた方に参加状況と今後の参加意向について質問しました。最近1年間に参加した割合が高い地域活動等（「週に3回以上参加している」＋「週に1～2回参加している」＋「月に1～2回参加している」＋「年に数回参加している」）は、「地域で開かれるイベントへの参加」(55.2%)が最も高くなってしています。以下、「町会・自治会」(46.9%)、「スポーツや芸術・文化等のサークル活動」(38.1%)が高くなってしています。今後の参加意向の高い地域活動等（「参加したい」＋「なるべく参加したい」）は、「地域で開かれるイベントへの参加」(61.9%)が最も高く、以下、「スポーツや芸術・文化等のサークル活動」(57.8%)、「地域での頼まれごとへの対応・困っている人の日常的な手助け」(46.2%)が高くなってしています。

31ページでは、28ページにおいて「参加したことがある」と答えた方に参加のきっかけを質問しました。全体として、「地域での活動に興味があった」(17.7%)、「知人・友人に誘われた」(17.0%)と回答した割合が高くなってしています。

32ページでは、28ページにおいて「参加したことがない」と答えた方に理由を質問しました。全体として、「参加する時間がないから」(33.1%)が高くなってしています。以下、「活動していることを知らなかったから」(18.1%)、「活動の内容が分からないから」(15.6%)、「関心がないから」(11.7%)の順で高くなってしています。

33ページでは、28ページにおいて「参加したことがない」と答えた方に参加する条件について質問しました。全体として、「活動に関する情報提供」(31.3%)と「制約や負担の軽減」(31.0%)が高くなってしています。

34ページから39ページでは「近年の社会トレンドについて」の回答を示しています。34ページでは、どのような社会情勢を重視して行政運営を行うべきかを聞いたところ、「少子高齢化と人口減少の更なる進行」(56.6%)が最も高く、以下、「安心して生活できる環境の実現」(54.9%)、「安全で持続可能な都市基盤の形成」(35.3%)と続いています。

35ページでは、市のデジタル化について期待することを聞いたところ、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」(67.2%)が最も高く、以下、「市役所の手続きで記入の必要な書類が減る」(51.8%)、「自分が対象となるサービスや手続きの情報がオンラインで配信される」(38.5%)と続いています。

36 ページでは、SDGs という言葉の認知度を聞いたところ、全体として、「言葉も知っており、内容も知っていた」（79.4%）が高くなっています。

37 ページでは、SDGs についての関心状況を聞いたところ、全体として、「やや関心がある」と回答した割合が54.4%と高くなっています。「非常に関心がある」（13.3%）と「やや関心がある」（54.5%）を合わせた関心度は、67.7%となっています。

38 ページでは、37 ページにおいてSDGs について「全く関心がない／分からない」と答えた方に関心がない理由を聞いたところ、「SDGs という言葉が何を意味するのか分からないから」（47.8%）が最も高く、以下、「何をすればよいのか分からないから」（26.1%）、「取り組んでもあまり意味がないと感じるから」（26.1%）と続いています。

39 ページでは、SDGs のゴールのうち、市が重視すべきだと思うものを聞いたところ、「住み続けられるまちづくりを」（50.5%）が最も高く、以下、「すべての人に健康と福祉を」（41.3%）、「質の高い教育をみんなに」（26.5%）と続いていました。

40 ページでは、小金井市のまちづくりについて自由に回答いただき、その結果についてテキストマイニングを用いて分析しました。「住」、「みやすい」、「続」などの単語が含まれ、「住みやすさを求める意見」として関連付けられます。「整備」、「道路」、「環境」、「バス」、「生活」などの単語が含まれ、「交通インフラや都市基盤に対する意見」として関連付けられます。

続いて、資料10「令和6年度小金井市小中学生アンケート結果報告書（概要版）」について御報告します。目次を御用意させていただいております。大項目1にて実施概要と設問一覧を掲載しており、大項目2にて調査結果を掲載しています。

2 ページから4 ページでは、実施概要を掲載しております。本アンケート調査は小金井市内の小学校6年生及び中学校3年生のChromebookが貸与されている児童・生徒全員を対象としました。アンケートフォームを共有し、WEBで回答いただいております。小学生アンケートの有効回答数は882人で、中学生アンケートの有効回答数は612人となっています。

6 ページでは、「属性情報」として、通っている学校についての回答を示しています。回答の詳細は資料のとおりです。

7 ページから12 ページでは「集計結果」を示しています。7 ページでは、小金井市に対してどのようなイメージを持っているかを質問しました。自由回答をもとに、テキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「自然」や「緑」、「豊か」、などの単語から、「自然が豊か」という認識があることがうかがえます。また、「治安」、「良い」、「安全」、「安心」などの単語から、「治安が良く安全・安心」という認識があることがうかがえます。

8 ページでは、小金井市の好きなところを質問しました。小学生においては、「川や緑地など豊かな自然環境がある」（73.1%）が最も高く、以下、「身近な場所に公園（遊び場）がある」（67.2%）、「犯罪、災害が少なく安全で安心な環境がある」（50.3%）と続

いています。中学生においては、「川や緑地など豊かな自然環境がある」（７１．６％）が最も高く、以下、「犯罪、災害が少なく安全で安心な環境がある」（５１．３％）、「身近な場所に公園（遊び場）がある」（４８．９％）と続いています。

９ページでは、将来も小金井市に住みたいかを質問しました。小学生においては、「どちらとも言えない」（３８．０％）が最も高く、以下、「住み続けたい」（２５．５％）、「どちらかというに住み続けたい」（２５．２％）と続いている。中学生においては、「どちらかというに住み続けたい」（３７．３％）が最も高く、以下、「どちらとも言えない」（３５．３％）、「住み続けたい」（１６．２％）と続いています。

１０ページでは、将来小金井市がどのようなまちになってほしいかを質問しました。自由回答をテキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「自然」や「緑」、「多い」、などの単語から、「自然環境の維持」というイメージが多くあることがうかがえます。また、「平和」、「犯罪」、「このまま」などの単語から、「平和で安全な環境の維持」というイメージが多くあることがうかがえます。

１１ページでは、１０ページに答えたまちになるためのアイデアを質問しました。小学生・中学生ともに「増やす」や「店」、「作る」などの単語から、「商業施設の増加」というイメージが多くあることがうかがえます。また、「自然」、「大切」などの単語から、「自然環境の保持」というイメージが多くあることがうかがえます。

１２ページでは、小金井市に対しての自由な意見を記入してもらいました。テキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「学校」、「トイレ」、「きれい」、「にしてほしい」などの単語が並び、「学校設備の改善」という意見として関連付けられています。また、「公園」、「増」、「遊」、「ボール」などの単語が並び、「子どもの遊び場」を求める意見として関連付けられています。

資料１０「市民懇談会・高校生ワークショップ～みんなで創る「こがねい」の未来～報告書（概要版）」について報告します。大項目１にて実施概要を掲載しており、大項目２にて実施結果を掲載しています。

１、２ページに実施概要を示しています。市民懇談会は、「幅広い年代の市民から小金井市についての意見を収集することで、後期基本計画策定のインプットとする。市民参加を促進し、計画に対する理解と協力を得る。」ことを目的とし、実施しました。実施日程は、１０月２６日（土）１３：００～１６：００です。開催場所は小金井市市民会館萌え木ホールで、参加対象は市内在住・在勤・在学の１８歳以上の方、参加人数は１６人です。内容は、①市の良いところや改善点を話し合おう②市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を考えようです。

高校生ワークショップでは、「未来を担う高校生から小金井市についての意見を収集することで、後期基本計画策定のインプットとする。高校生にとっても、市政参画のきっかけとなる体験を演出する。」を目的として実施しました。実施日程は、１０月３１日（水）１７：００～

19：30で、開催場所は小金井市市民会館萌え木ホールです。参加対象は市内在住・在学の高校生又は高校生世代の方で、参加人数は16人です。内容は「①市の良いところや改善点を考えよう」「②市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を話し合おう」「③ワークショップの振り返りをしよう」です。

2ページには実際に使用した募集チラシを掲載しています。

3ページからワークショップの実施結果を示しています。今回のワークショップでは、2つのグループワークを行い、市が求められている事項について、意見を収集しました。

4、5ページでは、「意見の一覧」を示しています。各班より出された意見を、それぞれ現行計画である「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」の施策の体系に基づき、分野毎に整理しました。

6ページから市民懇談会における各班の「意見の詳細」を示しています。

1班の課題は、「存在感が薄く、人が小金井市に来ない。」理想の未来は、「①移住者が増える。②ほかの市や区の方、外国人観光客が遊びに来てくれる。③若い人が増え、子どもがたくさんいるまちになってほしい。」、課題解決に向けた「施策」案は、「①都有地を活用し学生を集めた音楽フェスやアートフェスを行う。②市の存在感を高め、人気を上げるために、広告の充実や発信を行う」です。

2班の課題は「①コミュニティ不足（・多世代が交わる場所がない。・親同士のつながりがない。）②親へのサポート不足（・親が相談する場所がない。・若いワーママ・ワーパパの余裕のなさ。・シングルマザー・シングルファザーの暮らしに余裕がない。・親が休む権利がない。）」、理想の未来は「①教育でつながるまち（・教育で大人も子どももつながるまち。）」、課題解決に向けた「施策」案は、「①地域住民との交流機会の増加（・アクティブシニアの力を活かす。・大人のサークル（を設立する。）・スポーツ・文化大会（を開催する。）・大学生など学生との対話（の場を作る。）・大学の多さと街のコンパクトさを利用した大学と連携したまちづくり。）」です。

3班の課題は、「①行政による外国人支援の不足（・（学校での外国ルーツ児童の）実態把握や外国人が相談できる窓口が不足している。日本語支援が行き届いていない。）②外国人とのコミュニケーション不足（・生活環境の違いとコミュニケーション不足によるトラブルの懸念がある。）」です。理想の未来は、「①外国人にも優しいまち（・外国人も住みやすいまち。

（多様な人を受け入れることで日本人にとっても住みやすいまち。）・文化交流により（外国人への）理解が深まったまち。・外国人が地域住民の一員として防災や教育にも関わるまち。・（外国人を含めた）人同士でのやり取りがあるまち。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①異文化交流の促進（・異文化交流を促進して、市の計画等に外国人の視点を入れる。・優しい日本語での情報提供。（平仮名活用や難解語句の言い換えなど。））②外国ルーツの子どもたちへの教育支援（・（外国ルーツの）子どもたちへの日本語指導の充実。・外国ルーツの子ども支援のモデルケースを参考にする。）」です。

4 班の課題は、「①高齢者の学び場の不足（・（シニアの）脳活のための施設がない。・公民館などの公的な無料環境が少ない。）②子どもの学び場の不足（・子どもの教育が学校教育に終始しがち。）」です。理想の未来は、「①高齢者の学び場が充実したまち（・新たな高齢者スクールを築く。・シニアの認知症予防をする。）②子どもの学び場が充実したまち（・学校教育と連携した地域社会の学びの場（があるまち。）・子どもの興味に寄り添った学びの場が充実（しているまち。））」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①高齢者の学びの場づくり（・コミュニティプロジェクトを新たに作る。（地域カフェやシニアサロンなど。）・脳活プログラム（健康麻雀等）を推進する。）②施設の充実（・学校を中心に地域で利用できる施設を利用する。・博物館・美術館の拡充。）」です。

5 班の課題は、「①不透明な税金使途（・税金の使い方のバランスが悪い。・スピード感がない。）」です。理想の未来は、「①分配の見える化による市民に開かれたまち（・分配の見える化。（ヒトモノカネの分配を見える化する。）・適切な分配の見直し。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①分配状況の公開（・分配状況を市民が容易にアクセスできる（ように市報や市のホームページ等で公開する。）

）②行政の効率化（・意思決定のスピードアップ。・D Xによる無駄遣いの削減。・職員の削減。）」です。

1 1 ページから高校生ワークショップにおける各班の「意見の詳細」を示しています。

1 班の課題は、「①学校内外の交流不足（・学校間での交流（が少ない。）・学校外や地域との交流（が少ない。）・留学生の受け入れを増やしてほしい。（国際交流ができない。））」です。理想の未来は、「①様々な交流の機会があるまち（・いろいろな人との交流を行う学習をする。・地域をつなぎ、開かれた学びの場を！・英語を話す機会が多い。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①学校間が連携した研究会（学会）の開催（・高校生学会。（学会のように、学校間で連携し、高校生同士が研究等の成果を発表する機会を設ける。）・生徒が自分の研究を発表する。・市内の学校を集めて発表交流などを実施する。）②交流イベントの開催（・市としての学校交流イベントを開催する。・E n g l i s h W o r k s h o pを開催する。）」です。

2 班の課題は、「①認知度の低さ（・認知度（が低い）。・PRが足りない。）②魅力不足（・（小金井市としてPRできる）武器がない。・住んでいる人ですら、ぱっと思いつく小金井市の魅力がない。・観光スポットがない。・住人に若い人が少ない。）」です。理想の未来は、「①認知度のあるまち（・小金井といえば〇〇というものがある。・毎日テレビで見る。・目指せ第二の立川！）②魅力のあるまち（・活気のある元気なまち。・どこに行ってもにぎやか。・夜でも明るい安全な場所。）③人が集まる小金井公園（・にぎやかな小金井公園。・若者同士が出会える小金井公園。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①広報強化（・インスタグラム等を活用して、市の魅力やイベントを宣伝する。）②小金井公園をもっと活用しイベント開催（・小金井公園でジブリの先行試写会を実施する。・イルミネーションを実施する。

・ＢＢＱ、セグウェイ、自転車、花火大会などの高校生中心の小金井公園ツアーを開催する。
・子ども対象のお祭りや大人、学生を対象とした祭りを開催する。・ライブ会場やスポーツ大会会場として活用する。）」です。

３班の課題は、「①交通網の不足（・交通の問題（バスなどの路線や本数が少ない。）・東小金井駅のバスが少ない。）」です。理想の未来は、「①移動に優しいまち（・駅に行きやすいまち。・移動しやすいまち。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①バス路線の整備（・需要と供給のバランスを考えながら、バスの本数を考える。）②バス停の整備（・バス停の屋根の設置。（バス停で長い時間待てるようにする。））③自転車活用の促進（・サイクリングロードを整備する。・駐輪場を駅近くに整備する。・駐輪場の定期契約と電車の定期券を連携させる。（連携割引など。）」です。

４班の課題は、「①公共施設の整備不足（・学校などの公共施設が整備されていない。・市役所の建設の話が進んでいない。・（学校の）トイレが汚く、床がへこんでいる。・ＣｏＣｏバスの利用者が少ない。）」です。理想の未来は、「①公共施設が整備されたまち（・公共施設がより計画的に整備され、より使いやすいものに（なったまち。）・子どもの遊び場があるまち。）」です。課題解決に向けた「施策」案は、「①市民の意見が反映されやすい仕組みづくり（・Ｇｏｏｇｌｅフォームなどを用いて意見投票を更にしやすくする。・年代に合わせた質問方法。（郵便・ＷＥＢ回答等のアンケートを実施。）・小学生に改善してほしいところを尋ねる。選択式の質問形式にすることで、小学生が答えやすくする。）」です。

１５ページと１６ページには、会議の内容を絵や図で整理する「グラフィックレコーディング」を用いて記録した、ワークショップ当日の様子を掲載しています。

◎渡邊会長 事務局および支援委託事業者から御説明をいただきました。説明に対し、何か御質問や御意見はございますか。あれば挙手をお願いいたします。よろしければ、私から質問させていただきます。分析手法として御説明のあった、テキストマイニングとは何でしょうか。

◎中村（アビームコンサルティング株式会社） テキストマイニングという手法は、自由意見を分析し、どのような単語が多く回答されていたかを見るものです。また、単語に紐づいている単語は何かを確認できます。例えば、「自然」と「豊か」がそれぞれの単語として一緒に記載されているというような関係性の確認ができるものになります。

◎渡邊会長 グラフィックレコーディングは人間が描くのでしょうか。

◎中村（アビームコンサルティング株式会社） 人間が描いています。グラフィックレコーディングを描く人がワークショップに同行し、ワークショップと同時に途中まで描き進めました。最終版は後日納品させていただきました。

◎浅野委員 資料１０の令和６年度小金井市市民意向調査報告書（概要版）の１２ページについて、回答者が子育て世帯か子育て世代でないかを識別できる変数となっています。前期からの意見として、子育てや学校教育の満足の回答を見るうえで、子育て世代かどうかで異なる可能性が指摘されていました。子育て世代と子育て世代でない属性で分けたうえで分析を行え

ば良いと考えています。

◎渡邊会長 よろしいでしょうか。それでは、次に進みたいと思います。

次に、次第8です。次回以降の予定について、事務局から説明をお願いします。

◎兼堀企画政策課主任 次回の日程ですが、3月27日（木）午前10時から、本日と同じ市役所本庁舎第一会議室での開催を予定しております。それ以降については、会場確保等の都合もあるため、改めて委員の皆様にはスケジュールをお伺いし、参加者の多い日程で決めさせていただきたいと考えております。

◎渡邊会長 今回は3月27日（木）午前10時からということで、それ以降については、改めて日程調整を事務局から行うということでよろしいでしょうか。

◎渡邊会長 それではそのとおりとしたいと思います。皆さんとの事前調整よろしく願いいたします。

その他事務連絡等、ございませんでしょうか。

◎兼堀企画政策課主任 開催通知にも記載しておりましたが、「承諾書」及び「委任状兼口座振替依頼書」を会議終了後、回収いたしますので、職員までお渡しください。

続いて、報酬についての御連絡です。本審議会への出席に伴う報酬の支払いは、毎回翌月10日払いを予定しております。指定された口座へお支払いさせていただきますので、記帳等で御確認ください。

次に、配布資料についてでございます。本審議会では、資料が多くございますため、事務局へ預けてお帰りいただくことも可能です。預かり希望の資料を袋に入れて、机の上に置いたままにしてお帰りください。次回審議会にて机の上に配布させていただきます。資料はもちろんお持ち帰りいただいて構いませんが、次回御持参ください。

◎渡邊会長 最後に本日の感想をお願いします。

◎桜山委員 前期も務めさせていただきました。前期は無作為で抽出されて参加していましたが、何もわからない状況で、勉強になりました。今回は少しバックグラウンドを知っているため、よりよくするために意見を出せればと思います。

◎白井委員 市民意向調査の結果では、自然がキーワードとなっていました。市民が自然と共生する都市を求めているのだと思います。ビルの中に公園を作ることなどで、住みやすい街をつくると良いと思います。全体をまとめてテキストマイニングやるとより良いと思いました。

◎中村委員 このような会議はしかめっ面で議論する傾向にありますが、楽しくやっていきたいと思っています。

◎湯本委員 資料が多くついていけるか不安ですが、楽しくやっていきたいと思っています。

◎渡辺委員 大変なことに参加しようとしていると感じました。資料はデジタルで配布していただけないのでしょうか。

◎兼堀企画政策課主任 事前配布をしようとしていますが、本日は間に合いませんでした。今後はできる限り事前にメールでお送りします。また、審議会終了後には資料を市のホームページ

ジで公開します。

◎石塚委員 市民懇談会と高校生ワークショップで福祉と健康についての意見は出ていませんでした。頑張って考えていきたいと思います。

◎春日委員 シルバー人材センターで高齢者の生きがいについて活動していますが、市民は市の活動に満足していない結果となりました。生きがいづくりについてを検討していきたいと思います。

◎須藤委員 前期も参加してみて評価だけのイメージでしたが、今期はやることが多く大変な印象です。次回の審議会は欠席しますが、できる限り参加していきたいと思います。

◎和知委員 ここまで調査研究をしていると思っていませんでした。市民から地域活動について活動内容が分からないという意見があるため、青年会議所や地域で議論していきたいと思います。

◎浅野委員 小中学生アンケートでトイレをきれいにしてほしいという意見があり、教育委員会としては優先的に取り組んでいます。後期基本計画の期間が終わるころにこのような声がないと良いと思います。また、市民意向調査の公表データを頂ければと思います。

◎井寺委員 駅前から少し離れたら緑があることを、駅周辺に住んでいる人にはあまり知られていません。この会議はいろいろな立場の人が一堂に会するため、貴重な機会となると思います。

◎神山委員 市の職員でもあるため、お願いする部分と委員としての両方でもある。楽しく活発な意見交換をしていきたいと思います。初回にしては活発で、少しずつ意見を出しながら良いものを作りたい。

◎萬羽職務代理者 資料10の令和6年度小金井市市民意向調査報告書（概要版）22ページでは、特に優先的に進めていくべきと考えられているもので一番多い得票率のものでも2割程度となっており、意見が分散している印象があります。分散しているというのが浅野委員からあったように属性別で異なるため、どういう属性の人がどういうことを求めているのかが分かると良いと考えます。しかし、子どもを育てている人だけが教育に興味があるわけではないため、子育てしている属性だけの分析と、全体の分析を行えるといいと思います。また、他の属性の人にも関係があるよう思ってもらえるにはどうすれば良いかを考えていけると良いと思います。

◎渡邊会長 それでは、本日の議題は全て終了しましたので、これで令和6年度第5回長期計画審議会を終了します。お疲れ様でした

（午後8時41分閉会）